

V 健やかな「都」をつくる 18 だれでもいつでもどこでもスポーツできる環境づくり

(102) スポーツ振興ビジョン策定とまちなかスポーツの振興

これまでは

いつでもどこでも誰でもスポーツを楽しめる環境整備を目指してきました。

- 現行の「スポーツ推進計画」は令和4年度までですが、その先を見据えたビジョンの策定が必要です。
- 年齢に応じて(幼児から高齢者まで)スポーツを楽しめる環境づくりが必要です。
- 自然環境に恵まれた奈良県で暮らしの身近なところでの運動は健康増進の要の一つです。
- イベント開催を通じたスポーツ振興を図ってきています(奈良マラソンは10回目を迎えました)。

もっと良くするために

本県のスポーツ振興施策を体系的に行うため、中長期的な目標を含む**ビジョンを令和2年度に策定し**、次の「奈良県スポーツ推進計画(令和5年度から)」に繋げます。

- それぞれのライフステージやライフスタイルに応じて、いつでも、どこでも、誰でも生涯にわたってスポーツを楽しんでいただける**機会づくり、施設の整備**を行います。
 - ・ 奈良マラソンなどスポーツイベントの継続拡充(91百万円)
 - ・ 大規模スポーツ大会の開催(146百万円) [債務負担行為 8百万円]
 - ・ 総合型地域スポーツクラブの育成強化(4百万円)
 - ・ 幼児などの運動機会の拡大(2百万円)
 - ・ スポーツ施設の環境整備(128百万円)

身近な公共スペース、公共・民間スポーツ施設の開放活用、新たなスポーツ施設の整備を通じて、**まちなかスポーツ施設の整備**を図ります。

- ・ 京奈和自転車道の整備(547百万円) [債務負担行為 150百万円]
- ・ まほろば健康パークの機能強化(780百万円)

令和2年度予算案 1,698百万円 [債務負担行為 158百万円]

R2予算案 1,697,651千円 [債務負担行為 158,300千円]

<いつでも、どこでも、誰でも生涯にわたってスポーツを楽しめる機会づくり、施設の整備>

- ◆ **奈良マラソンなどスポーツイベントの継続拡充** (91,035千円)
 - ・ 奈良マラソン・リレーマラソン大会・サイクルスポーツイベントなどの開催支援
 - ・ トレイルランニングなど奥大和の特色を活かしたスポーツイベントの開催
- ◆ **大規模スポーツ大会の開催** (146,200千円、R3債務負担行為 8,300千円)
 - ・ 東京2020オリンピック・パラリンピック聖火リレーやフェスティバルの開催とキャンプ受け入れによるスポーツを通じた国際交流
 - ・ ワールドマスターズゲームズ2021関西の開催支援
 - ・ 2030年の「第85回国民スポーツ大会・第30回全国障害者スポーツ大会」の開催に向けた施設整備基本計画の策定
- ◆ **総合型地域スポーツクラブの育成強化** (3,971千円)
 - ・ クラブアドバイザーによるクラブへの巡回指導等
- ◆ **幼児などの運動機会の拡大** (2,165千円)
 - ・ 幼児向け運動・スポーツプログラムを実践している幼稚園・保育所等による協議会を設置し、取組を普及
 - ・ 児童の体力向上のための支援員や部活動支援のための地域人材を学校に派遣



2019奈良マラソン

- ◆ **スポーツ施設の環境整備** (128,109千円)
 - ・ 県立橿原公苑の施設整備(佐藤薬品スタジアム、ジェイテクトアリーナ奈良の機能向上整備、弓道場耐震改修工事等)
- <まちなかスポーツ施設の整備>
- ◆ **京奈和自転車道の整備** (546,480千円、R3債務負担行為 150,000千円)
 - ・ 京奈和自転車道の整備(R2年度概成)
 - ・ 自転車利用ネットワークの構築や自転車利用環境の整備



幼児向け運動・スポーツプログラムの実践

- ◆ **まほろば健康パークの機能強化** (779,691千円)
 - ・ スイムピア奈良屋外プール観客席増設及び屋根の整備(R3年6月竣工予定)
 - ・ 子どもが憩い楽しみ、遊びや運動、スポーツを通して育み成長する公園を目指した整備計画の検討

<問い合わせ先>

くらし創造部スポーツ振興課 椋本課長補佐(内線5271)

VI 智恵の「都」をつくる

～すべての県民が、生涯良く学び続けられ、
奈良の歴史文化に親しめる地域をつくる～

VI 智恵の「都」をつくる 19 教育の振興 (103) 県立大学の教育の充実

これまでは

教育環境充実を図ってきました。

- 「少人数対話型教育(コモンズ制)」を導入し、地域に貢献できるすぐれた人材を育成
- 国内外における「フィールドワーク」先を充実させ、地域課題に主体的に取り組む人材を育成
- 海外大学との交流を進め(協定締結平成27年度:9校→平成30年度:17校)、学生の留学経験者の増加を図り、教育及び学術研究交流の一層の推進を加速
- 学生が希望する進路実現のためキャリアサポートを充実し、高い就職率を維持
- 「施設整備基本計画」に基づき「コモンズ棟」等を整備
- 「奈良県立大学シニアカレッジ」を実施し、県民へ学び直しの機会を提供



キャンパスの整備をしています。
施設整備基本計画に基づく整備イメージ

R2予算案 475,709千円

県立大学の整備 (56,200千円)

- ・ 県立大学附属高校の設置等に対応するため、**「県立大学整備基本計画」の見直し**
→附属高校生の学びのための教育・学習空間の確保、高大連携の拠点となる図書館のあり方検討
- ・ コモンズ棟建築(令和2年8月竣工予定)に伴い、**雨水貯留施設の機能維持に必要な整備工事等**



コモンズ棟外観イメージ

もっと良くするために

県立大学の整備(56百万円)

- コモンズ棟は**令和2年8月竣工予定**
- 附属高校の設置等に対応するため、「県立大学整備基本計画」の見直しを行います
- 第2学部(理工系)の設置**について検討します



コモンズ棟外観イメージ

少人数対話型教育(コモンズ制)の推進、東アジア・サマースクール、学生の海外留学支援(366百万円)

(新)高等教育の無償化(54百万円)

令和2年度予算案 476百万円

中期目標の達成に向けた取組を支援(365,603千円)

- ・ **少人数対話型教育(コモンズ制)の推進**、**東アジア・サマースクール**、学生の**海外留学支援事業等**を支援

⑧ 高等教育の修学支援(高等教育無償化) (53,906千円)

- ・ **高等教育修学支援新制度への対応**
→令和2年4月から支援の対象となる学生に対し、**授業料及び入学料を減免**



UNWTO(国連世界観光機関)と持続可能な観光のワークショップを開催

東アジア・サマースクールの様子



<問い合わせ先>

地域振興部
教育振興課 山口課長補佐 (内線2576)

VI 智恵の「都」をつくる 19 教育の振興 (104) 県立大学附属高校の設立

これまでは

県立大学附属高校の設立のための議論を重ねてきました。

○県立大学の「建学の精神」を踏まえ、附属高校の教育の理念や柱について議論してきました。

○大学や社会への円滑な移行を視野に、県立大学教員による講義科目の設置など高大連携や、高校から大学そして社会へ至る接続の仕組みなどについて議論してきました。

○設置にかかる手続きなどの準備業務や施設整備、附属高校の組織、財政などについて確認してきました。

もっと良くするために

令和3年4月に県立大学附属高校を開校します。

奈良県立大学附属高校の教育

・奈良県立大学の建学の精神「奈良の再発見を通して日本と世界に貢献する」を踏まえ、附属高校では「**自立した個人として他者や社会に貢献し、何事にも挑戦する**」姿勢を持つ、**未来社会を切り拓く人材を育成**します。

○県立大学教員による講義等の実施や、ゼミ科目など県立大学講義科目を選択履修するなど、県立大学が持つ知見等のリソースを有効活用したシームレスな高大接続を可能とするカリキュラムや仕組みを検討します。

○大学受験を意識しない7年間（高校3年間＋大学4年間）を見通した教育を念頭に、附属高校では社会人として求められる基礎的な資質・能力を育成し、大学教育へと繋がります。

○現・奈良県立西の京高等学校の校地に開校し、1学年5クラス(200名)を予定しています。

○卒業生のうち、50名程度は県立大学へ推薦。
残り約150名のうち希望する生徒については、他大学への推薦枠を活用し、一般入試無しでの大学進学を実現します。

令和2年度予算案 74百万円

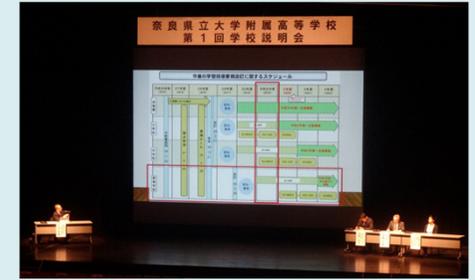
R2予算案 73,503千円

県立大学附属高校の開校準備

- ・令和3年度の開校に向け、**ICT教育環境等の整備や学校説明会、生徒募集及び広報等**を実施
- ・**開校準備の中核を担う教員を配置**

奈良県立大学附属高校の教育

- ・奈良県立大学の建学の精神「奈良の再発見を通して日本と世界に貢献する」を踏まえ、附属高校では「**自立した個人として他者や社会に貢献し、何事にも挑戦する**」姿勢を持つ、**未来社会を切り拓く人材を育成**
- ・県立大学教員による講義等の実施や、ゼミ科目など県立大学講義科目を選択履修するなど、**県立大学が持つ知見等のリソースを有効活用したシームレスな高大接続を可能とするカリキュラムや仕組み**を検討



奈良県立大学附属高等学校 第1回学校説明会



奈良県立大学ゼミ風景



電子黒板利用風景（ICT教育環境等の整備）

<問い合わせ先>

地域振興部

教育振興課 山口課長補佐（内線2576）

VI 智恵の「都」をつくる 19 教育の振興

(105) 県立医大教育の充実 県立医大教育将来像の深化

これまででは

県立医科大学の改革

第2期中期計画のもと、医大改革を進めてきました

県 → 医大 → 中期計画策定

中期目標提示 (第2期目H25~H30) → 評価委員会 → 実績の評価

第2期中期目標期間の評価を毎年行ってきました。

地域貢献	医療人の育成 他の医療機関との連携強化 研究成果の地域への還元等
教育	医の心を持った医療人の育成 医療経営に関する教育 老朽施設対策
研究	研究の成果評価 研究範囲の拡大 研究環境の改善
診療	人材確保 がん拠点構築 患者満足度の向上
法人運営	ガバナンスの充実強化 ワークライフバランス 充実 繰越欠損金の縮減

令和元年度から6年間の第3期中期目標・中期計画を進め、医大の改革をさらに進めています。

もっと良くするために

第3期中期目標達成に向けた取組・運営に対する支援 (5,156百万円)

県による中期目標・中期計画の進捗管理(2百万円)

〔奈良県立医科大学の将来像(教育分野の理念)〕
豊かな人間性に基づいた高い倫理観と旺盛な科学的探究心を備え、患者・医療関係者、地域や海外の人々と温かい心で積極的に交流し、生涯にわたり最善の医療提供を実践し続けようとする強い意志を持った医療人の育成を目指します。

〔医大への期待〕
高度医療、急性期医療から慢性疾患に対応する
○最高の医学と最善の医療を行う「良き医療人」を育成
〔「心・知・技」を併せ持つ人材を育成〕
○県内基幹病院として、地域医療の充実へ貢献

〔医療の特性に応じた目標〕

高度医療	・高度医療における患者の理解と、自己選択が促すコミュニケーションを習得する学習 ・臨床研究に医療者の総力を投入 ・質の高いがん治療実施比率の向上
急性期医療	・急性期医療における患者の理解と受容を促す「3・D・C」を習得する学習 ・特定行為研修を修了した看護師数の増加 ・緊急対応医療体制の確立 ・災害医療チームの育成
慢性疾患	・患者に寄り添うコミュニケーション学習 ・特定行為研修を修了した看護師数の増加 ・総合診療科に在宅医療部設置

令和2年度予算案 5,158百万円

R2予算案 5,157,833千円

○第3期中期目標達成に向けた取組と運営に対する支援(5,156,361千円)

県立医科大学の第3期中期目標達成に向けた取組と大学・病院の運営に要する経費に対し、**中期目標達成促進補助金、運営費交付金及び修学支援補助金**を交付

【中期目標達成促進補助金対象経費】

- ・心の教育を実現するための講座の運営経費
- ・タスクシフティング(医師・看護師)に係る経費 等

○**県による中期目標・中期計画の進捗管理**(1,472千円)

「医大の将来像実現推進会議」を開催し、**県立医科大学のPDCAマネジメントサイクルを推進**

医大に期待すること

高度医療、急性期医療から慢性疾患に対応する

- 最高の医学と最善の医療を行う「良き医療人」を育成(「心・知・技」を併せ持つ人材を育成)
- 県内基幹病院として、地域医療の充実へ貢献

5つの柱立てのもと、中期目標を設定

地域貢献	教育	研究	診療	法人運営
<ul style="list-style-type: none"> ○【教育】地域に貢献する医療人の確保と質の向上 ○【研究】県民の健康増進への貢献 ○【診療】地域の医療機関との連携・機能分担の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ○最高の医学と最善の医療を行う「良き医療人」の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ○最善の医療に貢献する最先端の研究の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○安全で安心できる最善の医療の提供 	<ul style="list-style-type: none"> ○持続可能で安定的な法人運営
<p>【教育】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○医師・看護師・保健師の県内定着 ○医師の偏在・散在の解消 ○看護師の質の向上 <p>【研究】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域に根ざし地域と歩む 研究の推進 <p>【診療】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○県民を守る「最終ディフェンスライン」の実践 ○病病連携・病診連携の推進 ○各領域の担い手となる医療人の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ○「心の教育」を軸とした良き医療人の育成 ○教員の教育能力開発と教育全般に関する360度評価 ○学生への支援の推進 ○学習環境と教育環境の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ○最善の医療に貢献する最先端の研究の実施 ○横連携・他分野連携の推進 ○研究推進体制の適正化と強化 	<ul style="list-style-type: none"> ○県内基幹病院としての機能の充実 ○患者満足の一層の向上 ○安全な医療体制の確立 	<ul style="list-style-type: none"> ○ガバナンス体制の確立 ○医療費適正化の推進とそれを支える費用構造改革の徹底による持続可能な経営基盤の確立 ○働き方改革の推進

<問い合わせ先>
医療政策局
病院マネジメント課 森本課長補佐(内線3162)

